

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2018年23週（6月1週 6/4～6/10）

2018年5月報

愛知県感染症情報センター（愛知県衛生研究所内）

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619（企画情報部）

今週の内容

◇トピックス

麻しん・風しん、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、流行性角結膜炎、エボラ出血熱に係る注意喚起

◇定点医療機関コメント

咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌感染症、感染性胃腸炎、水痘、インフルエンザ、ヒトメタニューモウイルス感染症等

◇全数把握感染症発生状況（）内は件数。

結核(28)、腸管出血性大腸菌感染症(5)、A型肝炎(2)、レジオネラ症(3)、アメーバ赤痢(1)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(2)、水痘(入院例に限る。)(2)、梅毒(16)、播種性クリプトコックス症(1)、百日咳(6)、麻しん(1)

◇2018年5月報

◇定点把握感染症報告数（保健所別、年齢別）

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

◆麻しん・風しん（6月13日現在）

愛知県の2018年麻しんの報告数は26件（3月1件、4月14件、5月10件、6月1件。診断日に基づく集計）、愛知県衛生研究所で行った麻しんウイルス遺伝子型検査ではD8型が検出されています。2017年麻しんは1件報告がありました。全国の2018年22週までの累積報告数は167件です（2017年総報告数は189件）。

愛知県の2018年風しんの報告数は1件、2017年は3件報告がありました。全国の2018年22週までの累積報告数は34件です（2017年総報告数は93件）。

【参考ページ】麻しん・風しん患者調査事業を実施しています

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>

本県における麻しん・風しん患者発生報告状況（2018）

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2018.html

疾患別ウイルス検出状況

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

麻しん（はしか）の発生状況について

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000013280.html>

麻しん・風しんの予防接種は2回受けましょう

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_4.html

麻しん対策の更なる徹底について（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/dl/180427_1.pdf

名古屋市：市内における麻しん（はしか）の発生状況（6月11日更新）
<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/8-4-3-9-0-0-0-0-0-0.html>

◆咽頭結膜熱（図1）

23週の定点当たり報告数は0.52、22週66人→23週95人（1.44倍）です。

◆A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（図2）

23週の定点当たり報告数は2.38、22週474人→23週434人（0.92倍）です。

【参考ページ】A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html

◆水痘

23週の定点当たり報告数は0.60、22週71人→23週109人（1.54倍）です。

【参考ページ】水痘（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/sa/varicella.html>

◆流行性角結膜炎（図3）

23週の定点当たり報告数は0.63、22週18人→23週22人（1.22倍）です。

◆エボラ出血熱に係る注意喚起について

【参考ページ】エボラ出血熱に係る注意喚起について（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000205580.pdf>

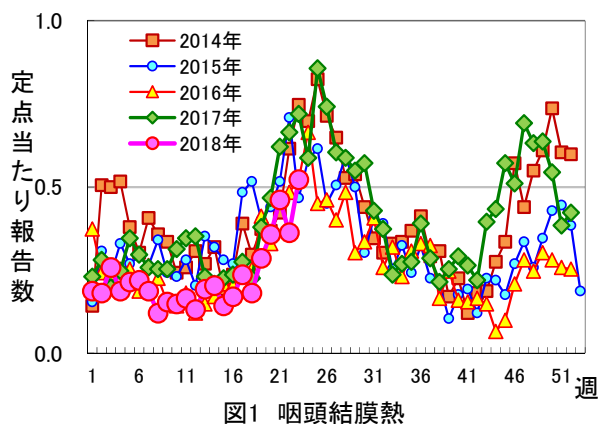


図1 咽頭結膜熱

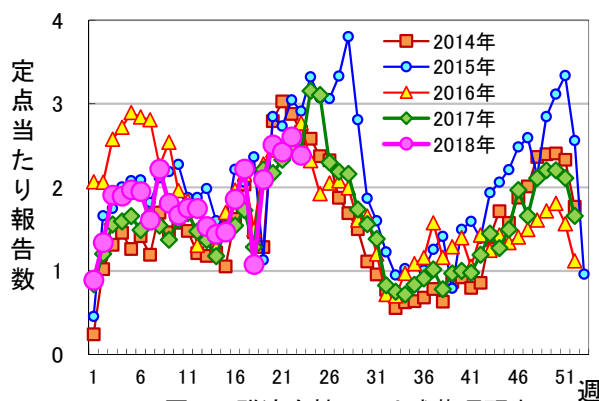


図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

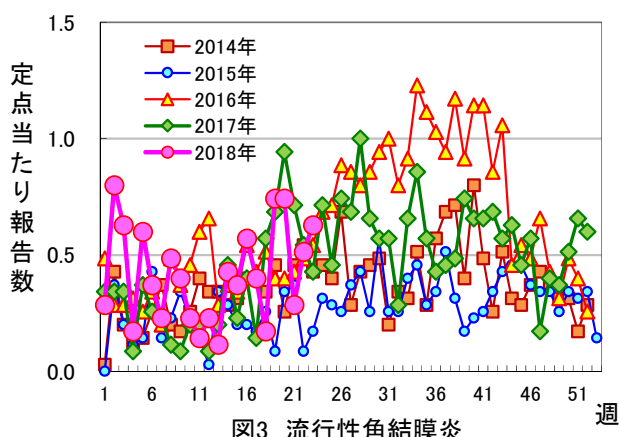


図3 流行性角結膜炎

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

- 感染性胃腸炎やや減少。
溶連菌感染症増加しています。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- 水痘、アデノ感染症、溶連菌続発中
ヘルパンギーナ散発
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- 溶連菌 15名と多めでした。アデノ 3名
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- 22歳男 カンピロバクター検出
3歳女 病原大腸菌O1検出
77歳男 病原大腸菌O18検出
21歳女 病原大腸菌O86a検出
1歳4か月男 ロタ(+)→入院
【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

- 今週も溶連菌感染症が多くみられました。
アデノウイルス感染症もみられますが、手足口病、
ヘルパンギーナはみられません。
その他、マイコプラズマ感染症等。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- 胃腸炎が散見されます。
【日進市 みやがわクリニック】
- インフルエンザ陽性報告 2名(成人1名、
小児1名ともにA型)
RSVはまだあります。
麻疹はありません。
夏風邪がふえています。
【春日井市 春日井市民病院】
- 溶連菌多数
アデノ 2例
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- インフルエンザはB型です。
【小牧市 志水こどもクリニック】
- 溶連菌感染症多いです。
【大府市 まえはらこどもクリニック】
- アデノウイルス感染症 4名(11か月、3歳、7歳)
【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

- StrepA(+) 3名
アデノ(+) 1名
E. coli(O114)+カンピロ 9歳男
E. coli(O86a) 13歳男
E. coli(O18) 9歳女
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- 咽頭アデノウイルス 1歳女
カンピロ 4歳男
小学校で水痘の小流行。ほとんどワクチン接種済児。
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- アデノ(+) 4歳女 1歳女 2歳男
【岡崎市 にいのみ小児科】
- 感染性胃腸炎が目立ちます。
【碧南市 永井小児クリニック】
- 咽頭結膜熱 7名、溶連菌感染症 8名
【知立市 宮谷クリニック】

東三河地区

- 水痘の子が時々います。
水痘が流行している学校があります。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
- ヒトメタニューモ 3歳 1名
【豊橋市 医療法人野村小児科】
- 病原性大腸菌O44 6歳男
病原性大腸菌O86a 2歳男
【豊川市 ささき小児科】
- ヒトメタニューモウイルス 1名
アデノウイルス 1名
病原性大腸菌O63 1名
病原性大腸菌O114 1名
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2018年6月13日現在

一～三類感染症

＜関連リンク＞ 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun180501.pdf>

● 結核（二類感染症）

報告保健所	2018年23週報告数			2018年総計(1～23週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	11	3	4	247	58	71
豊田市	1			39	6	9
豊橋市	2		1	41	2	27
岡崎市	2	1		25	6	7
一宮	2			50	18	15
瀬戸	1		1	39	7	15
半田	1	1		30	9	12
春日井	2	1		43	6	14
豊川				13	4	6
津島	1			44	5	5
西尾				10	1	1
江南	2	1		13	1	
新城				2		2
知多				25	12	2
清須	1	1		13	4	4
衣浦東部	2		1	28	4	11
合計	28	8	7	662	143	201

● 腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	16歳	女	5/26	5/30	6/4	O26、VT1(+)
2	名古屋市	20歳	男	6/1	6/3	6/6	O157、VT1(+) VT2(+)
3	春日井	72歳	女	6/2	6/4	6/8	O157、VT1(+) VT2(+)
4	江南	8歳	女	5/28	5/30	6/2	O121、VT型不明
5	知多	5歳	男	5/28	6/1	6/4	O26、VT1(+) VT2(+)

四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）

● **A型肝炎（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	豊橋市	54歳	男	不明	タイ
2	半田	36歳	男	無	国内

● **レジオネラ症（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	豊田市	80歳	男	肺炎型	国内
2	津島	58歳	男	肺炎型	不明
3	知多	66歳	男	肺炎型	国内

● **アメーバ赤痢（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	豊川	61歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内

● **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	感染経路	感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	半田	85歳	男	以前からの保菌	国内	無

● **後天性免疫不全症候群（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	40歳	男	AIDS	性的接触	国内
2	名古屋市	50歳	女	無症候性キャリア	性的接触	国内

● **水痘（入院例に限る。）（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	62歳	女	不明	国内
2	瀬戸	29歳	女	有	国内

● **梅毒（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	34歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	28歳	男	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	24歳	女	無症候	性的接触	国内
4	名古屋市	39歳	女	早期顕症	性的接触	国内
5	名古屋市	33歳	男	早期顕症	性的接触	国内
6	名古屋市	44歳	男	晩期顕症	不明	不明
7	名古屋市	23歳	男	早期顕症	性的接触	国内
8	名古屋市	25歳	女	早期顕症	性的接触	国内
9	名古屋市	24歳	男	早期顕症	不明	国内
10	名古屋市	21歳	男	早期顕症	性的接触	国内
11	名古屋市	19歳	女	早期顕症	性的接触	国内
12	名古屋市	50歳	男	無症候	性的接触	国内
13	豊橋市	30歳	男	無症候	性的接触	国内
14	豊橋市	34歳	男	早期顕症	性的接触	国内
15	瀬戸	70歳	男	早期顕症	性的接触	国内
16	半田	47歳	男	早期顕症	性的接触	国内

● 播種性クリプトコックス症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	感染原因・感染経路	感染地域
1	名古屋市	79歳	女	免疫不全	国内

● 百日咳（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染経路・感染地域等
1	豊田市	11歳	女	有（追加接種有）	国内
2	一宮	69歳	女	不明	流行有（その他）
3	一宮	49歳	女	不明	流行有（その他）
4	津島	10歳	男	有（追加接種有）	流行有（学校）
5	津島	8歳	女	有（追加接種有）	流行有（学校）
6	衣浦東部	10歳	女	有（追加接種有）	国内

● 麻しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	26歳	男	有	国内

2018年5月報

(2018年6月12日現在、診断週に基づく集計)

5月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2017～2018年に報告のあった 疾病名及び病型 () 内は全数把握対象疾病数		2018年5月			2018年 累計 ＜愛知県全体＞	2017年 総計 ＜愛知県全体＞
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7)	結核	95 (24)	55 (24)	150 (48)	632 (194)	1,533 (432)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	13 (2)
	腸管出血性大腸菌感染症	9 (5)	3 (2)	12 (7)	18 (9)	178 (42)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
四類 (44)	E型肝炎	0	0	0	4	6
	A型肝炎	1	0	1	2	17
	エキノкокクス症	0	0	0	0	1
	オウム病	0	0	0	0	3
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	1
	チクングニア熱	0	0	0	0	1
	つつが虫病	0	0	0	1	4
	デング熱	5	0	5	8	23
	ブルセラ症	0	0	0	0	1
	マラリア	0	1	1	1	1
	レジオネラ症	13	6	19	37	102
五類 (24)	アメーバ赤痢	2	2	4	21	57
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0	10
	内訳	B型	0	0	0	9
		その他	0	0	0	1
	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	9	5	14	54	117
	急性脳炎	2	1	3	17	43
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	1	2	11
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	3	19	37
	後天性免疫不全症候群	2	6	8	41	72
	内訳	無症候性キャリア	2	5	7	40
		AIDS	0	1	1	29
		その他	0	0	0	3
	ジアルジア症	0	0	0	0	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	2	15	35
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	0	1	2	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	14	12	26	110	208
	水痘（入院例に限る。）	1	0	1	8	20
	梅毒	14	22	36	159	344
	内訳	無症候	3	9	12	40
		早期顕症	10	12	22	113
		晩期顕症	1	1	2	6
		先天梅毒	0	0	0	1
	播種性クリプトコックス症	1	0	1	6	12
	破傷風	0	0	0	1	11
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1	0
	百日咳*	25	4	29	89	—
	風しん	1	0	1	1	3
	麻しん	2	12	14	25	1
	薬剤耐性 アシネトバクター感染症	0	0	0	0	1
総 計		200	132	332	1,276	2,872

* 2018年1月1日に「百日咳」が五類感染症（全数把握）に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名		2018年5月			2018年 累計	2017年 総計
			愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体	愛知県全体
						合計	合計
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	24	57	81	343	909
		女	37	28	65	251	677
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	10	11	21	93	223
		女	19	9	28	141	313
	尖圭コンジローマ	男	6	12	18	82	211
		女	9	0	9	46	96
	淋菌感染症	男	16	27	43	195	462
		女	3	1	4	28	66
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		69	1	70	395	1,001
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		9	0	9	55	154
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	2	3

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2018年5月			2018年 累計	2017年 総計
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
エキノコックス症の犬	0	0	0	3	0
細菌性赤痢のサル	1	0	1	1	0

感染症の類型及び定義(感染症法)

2018年5月1日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症* (48疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスのよるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2018年1月1日に「百日咳」は定点把握疾患から全数把握疾患に変更されました。

2018年5月1日に「急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)」が五類感染症に追加されました。

2018年23週(2018年6月4日～2018年6月10日)

[illegible]

2018年23週(2018年6月4日～2018年6月10日)

愛知県衛生研究所

[illegible]